

～手話を学びたい人は～

高槻市では「手話を学びたい」という人のために、目的に応じたサークルや講座を開設しています。多くの人と交流を深めるために、またボランティアや仕事として活用するために、積極的にご参加ください。

手話サークル

子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に参加できる地域活動です。手話を学ぶだけでなく、耳が聞こえない・聞こえにくい人たちといっしょにイベントなどを楽しむこともできます。聞こえる人と聞こえない人の垣根を取り除く活動を通じて、お互いの理解と交流を深めています。



手話講習会

手話をはじめて学ぶ人が、日常生活に必要な基本的な手話を習得することを目指す講座です。入門コースと基礎コースがあります。

ステップアップ講座

大阪府の手話通訳者養成講座をめざすための講座です。より専門的な知識や高度な技術の習得をめざします。

「高槻市手話言語条例」は令和2年4月1日に施行されました。

手話やろう者への理解と手話を広めるために知ってもらいたいことをこの条例でまとめたよ。

手話やろう者への理解と手話を広めるための重要なポイントは？

- 手話が言語であること。
- ろう者には、手話でコミュニケーションをとる権利があること。

この2つのポイントをわかったうえで、手話を覚えて、はにたんといっしょにみんなが安心してくらせる社会をめざそうね！



◆「手話通訳の派けん」や「手話の研修」などについては、障がい福祉課へご相談ください。

◆高槻市手話言語条例(全文)は [高槻市手話言語条例](#) で検索してください。

高槻市役所障がい福祉課

TEL.072-674-7164 FAX.072-674-7188



手話は目で見て話す言葉です

耳の聞こえる人は声で会話をしています。耳が聞こえない人や聞こえにくい人は、目で見てわかる方法で会話をします。

手話は、手や指の動き、体の動き、表情などを使って、おたがいの考えや気持ちを伝え合う「目で見て話す言葉」です。

耳が聞こえない人や聞こえにくい人だけでなく、みんなが手話を使えるようになれば、コミュニケーションの「輪」がひろがります。

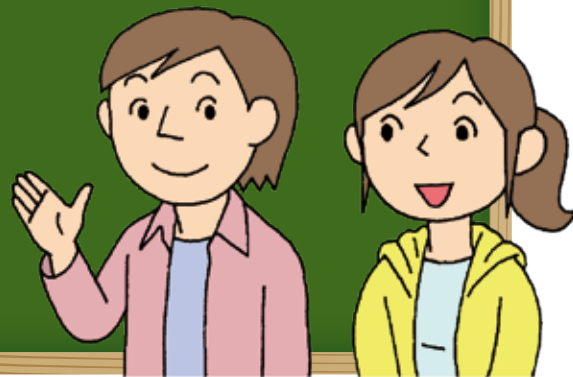
さあ、みんなではじめてみましょう！

聴覚障がいのある人って？

聴覚障がいのある人とは、耳が聞こえなかったり、聞こえにくかったりする人のことです。

生まれつき耳が聞こえない人もいれば、病気などで途中から聞こえなくなった人もいます。

どのくらい聞こえるのかも、人によって違います。その人に合う方法を考え会話や手助けをしましょう。



こんなことで困っています！

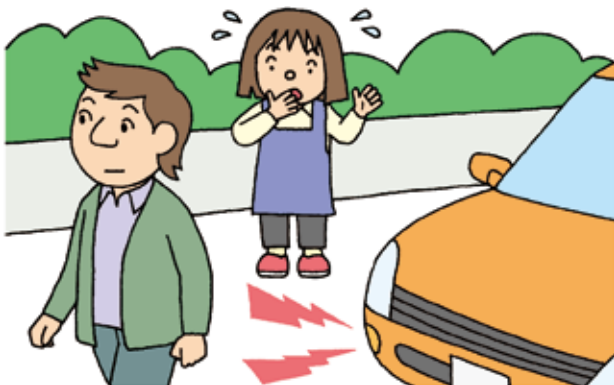
耳が聞こえないことが見た目ではわかりにくいので、困っていても、まわりの人に気づいてもらえないことがあります。



病院の呼び出しや、駅の案内放送などが聞こえず、いないと思われたり、緊急の情報など必要なことが伝わらなかったりします。



自転車のベルや自動車のクラクションなどが聞こえず、危険な目にあうことがあります。



複数の人がいっせいに話しかけたり、マスクなどで口もとがかくれていると、口の動きや表情が見えず、話の内容がわからないことがあります。



手話をおぼえよう！



手話って、むずかしそう...



いつも何げなくしている「身ぶり」が手話と似ていることもあるよ。

わたし



人さし指で、自分の胸をさす。

あなた



手のひらを相手にさしだす。または指さす。

いいですよ



親指と人さし指でマルをつくる。(OKのサイン)

だめです



両手を交差させてバツをつくる。



まずは、かんたんな「あいさつ」からおぼえよう。

会話のはじまりに使えるね！



はじめまして



左手の甲に右手の手のひらを重ね、上にあげながら人さし指以外をにぎる。(「はじめて」を表現)



両手の人さし指を向かい合うように立て、左右から近づける。(「会う」を表現)

よろしくお願いします

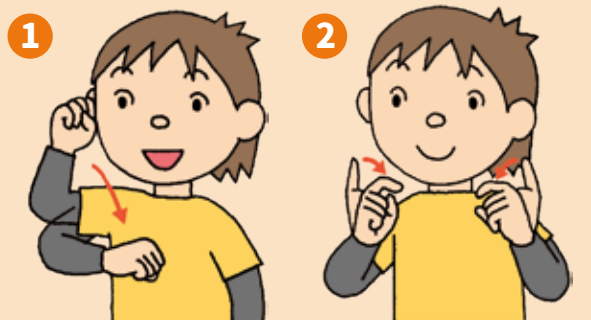


右手のこぶしを鼻にあてる。(「よろしく」を表現)



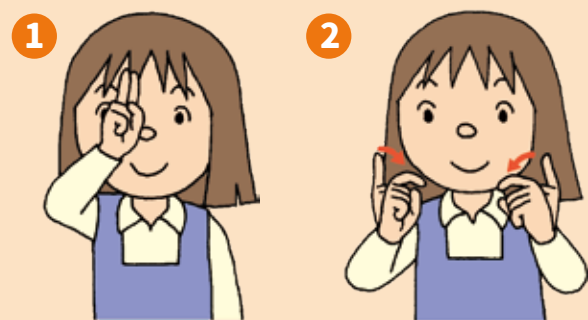
手を開き、頭をさげながら手を前に出す。(「お願い」を表現)

おはよう



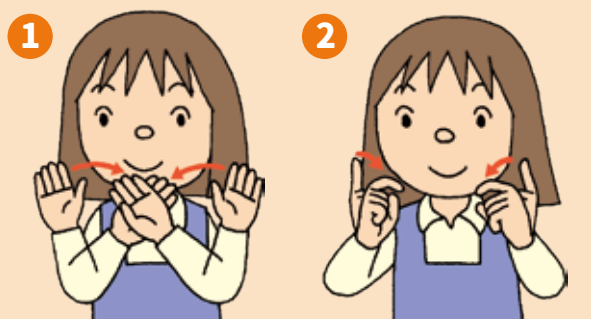
1 右手でこぶしをつく
2 右手の人さし指と中指を向かい合うように立て、軽く曲げる。
（「朝起きる」を表現）
（「あいさつ」を表現）

こんにちは



1 右手の人さし指と中指を立て、人さし指側を額にあてる。
2 両手の人さし指を向かい合うように立て、軽く曲げる。
（「昼」を表現）
（「あいさつ」を表現）

こんばんは



1 手のひらを前に向けたまま、両手を顔の前で交差させる。
2 両手の人さし指を向かい合うように立て、軽く曲げる。
（「夜」を表現）
（「あいさつ」を表現）

元気ですか？



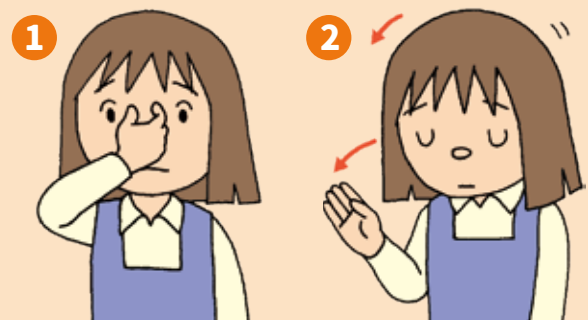
1 両手でこぶしをつくり、ひじをはり、2回力強く下におろす。
2 右の手のひらを自分に向けて顔の横におき、前に出しながらたおす。
（「元気」を表現）
（「～ですか？」を表現）

ありがとう



1 左手の甲に右手を垂直にのせて上にあげる。
2 頭はおじぎをするように軽くさげる。
（力士の手刀と同じ）

ごめんなさい



1 親指と人さし指で眉間をつまむ。
2 手を開き、指をそろえて下へおろしながら頭をさげる。

つぎは、自分や相手の「気持ち」を伝え合う手話をおぼえよう。

思いが伝われば会話がひろがるね。

わかる



右の手のひらで、胸のあたりをトントンと軽くたたく。

わからない



右手の指先で、右の肩のあたりを2回くらい上にはらう。

うれしい・楽しい



両手をひらいて、胸の正面あたりで、交互に上下に動かす。

悲しい



親指と人さし指の先をつけて目の下にあて、涙を流すように少し左右にゆらしてさげる。

～ですか？



形容詞のあとに、右の手のひらを自分に向けて顔の横におき、前に出しながらたおす。

～は何？



名詞のあとに、右手の人さし指を立て左右に軽く振る。
（「場所」のあとにつければ「どこ？」の意味に）

知っておこう！

手話は「表情」も豊かに

手話は、手や指の動きだけでなく「表情」がとても大切です。同じ言葉でも、笑顔で表現したり顔をしかめて表現したりすることで伝わりかたが変わります。豊かな表情で行いましょう。



できる

右手の親指以外の4本の指先を左胸から右胸の順にあてる。



できない・むずかしい

右手の親指と人さし指で、右ほおを軽くつねるようにする。



好き・～したい

右手の親指と人さし指をひらいて、あごの下におき、指をとじながら下におろす。



嫌い・～したくない

右手の親指と人さし指を輪にして、あごの下におき、指をひらきながらなめ前に出す。

病気や災害のときなどに使える手話も知っておこう



大丈夫？

心配そうに首をかしげ、右手の親指以外の4本の指先を左胸から右胸の順にあてる。



危ない

折り曲げた右手（や両手）の指先で、胸を2回くらいたたく。



逃げる

両手をにぎり、走って逃げるように交互にすばやく腕をふる。

※ここで紹介している手話と違う表現もあります。

知っておこう！

手話は「気持ち」が大切です

手話でいちばん大切なのは、「相手に伝えようとする気持ち」と「相手が伝えたいことをわかろうとする気持ち」です。失敗をおそれず、進んでチャレンジしましょう！

手話以外のコミュニケーションの方法

手話をおぼえれば、聴覚障がいのある人と会話することができるようになります。

しかし、耳が聞こえない人や聞こえにくい人にも、手話ができない人はいます。また、聞こえかたの程度では音声による会話ができる人もいます。

その人のことをよく知って、手話だけでなく、その人に合う方法も取り入れて会話をしましょう。



「口の動き」で伝える

口の動きがわかりやすいように、正面に立ってはっきり口を動かし、ゆっくり話しましょう。身ぶりと組み合わせるのもよいでしょう。少し聞こえる人とは音声による会話もできます。



「身ぶり」で伝える

自分なりの身ぶり（ジェスチャー）によって、こちらが伝えたいことを表現するのもよい方法です。正しく伝わっているか、こまめに確かめながら会話を進めていきましょう。



「筆談」で伝える

ノートやメモ帳などに文字や文を書きながら会話をしましょう。読み書きが苦手な人もいるので、短くわかりやすい表現を心がけましょう。絵やイラストをえがいて伝えるのもよいでしょう。



「空書」で伝える

空間に指で大きくゆっくりと、なるべく画数が少なく、わかりやすい文字を書くように心がけて会話をしましょう。同じように、テーブルの上や手のひらなどに書く方法もあります。

